

「永山まちづくり推進協議会」会議録（令和5年度第1回）

- 日 時 令和5年5月19日（木） 午後6時～午後6時55分
- 場 所 永山公民館 2階 講堂
- 出席者
  - ・委員13名（50音順）（欠席者7名）  
上野委員，葛西委員，紙谷委員，北村委員，工藤委員，桑嶋委員，  
塩尻委員，島田委員，高橋委員，土田委員，松本委員，宮腰委員，  
村井委員
  - ・事務局職員4名  
永山支所長，同副支所長，同市民係主査，永山公民館長
  - ・行財政改革推進部公共施設マネジメント課2名
  - ・社会教育部社会教育課2名
- 会議の公開・非公開 公開
- 傍聴者の数 なし
- 会議資料
  - ・会議次第
  - ・永山まちづくり推進協議会委員名簿
  - ・令和5年度地域活動計画
  - ・まちづくり推進プログラム

※当会議録中では、次のとおり表記する。

- ・永山まちづくり推進協議会を「協議会」という。

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

第1回の協議会の開催にあたり，会長からあいさつがあった。

## 3 意見交換

- (1) 行財政改革推進部公共施設マネジメント課から「「地域集会施設の活用に関する実施計画」における第2段階の実施について」資料に基づき説明があった。
- (2) 社会教育部社会教育課から「地域学校協働活動の推進について」資料に基づき説明があった。

## 4 議 事

- (1) 新委員紹介及び役員選出について，事務局から退任した委員の後任委員3名が紹介された。  
また，辻会計退任に伴い，会長が工藤会計を選出した。
- (2) (3) について，事務局から一括して令和5年度永山まちづくり実行委員会令和5年

度活動計画や推進プログラムの説明があり、その後それぞれの実行委員会の事業計画や予定している活動内容、委員が取り組んでいる活動などについて説明や意見交換を行った。委員の主な発言は次のとおり。

(委員)

「冬みち守り隊」の活動は約15年間実施され、今年度も11月から冬のパトロールや説明会を開催予定。ビッグの黄色いレシートで収入もあり、今年度でまちづくり実行委員会から卒業を予定している。

(委員)

「地域のオタスケマン」は永山西小学校3年生の授業でボランティアについて話しているが、今年度も要望があり6月に中身を変えて実施予定。他の学校でもやりたいと思っている。

(委員)

「SOS第三ネットワーク」について、これまで研修や模擬訓練をやってきて今年設立の予定、まちづくり実行委員会での活動も今年が最後になるだろう。模擬訓練はLINEを活用し、約20分で発見ができた。

(事務局)

「文化保存・振興事業」は10月に実施される永山地区文化祭において展示予定。また、旭川市立大学に協力を依頼する予定。

(事務局)

「子どもの学習支援」については、昨年から見直しをかげ月曜日の15時から17時まで公民館音楽室で実施。旭川市立大学のボランティアサークルが見守り等を行い、学生からの提案でモルックイベントも開催予定。

(委員)

「屯田まつり支援事業」については、大学生が5月にオリエンテーションを行い、授業であんどんづくりを行うことも考えているが難しいかもしれない。まずはすぐにできる踊りに参加できるよう、練習を設定するなどを考えている。

(委員)

「ほのぼのバザー」は昨年コロナで開催できなかったもので、今年度は9月から10月くらいに開催できるよう話し合いたい。認知症や障害者の社会参加につなげたい。

(委員)

「スープの冷めない“きずな”づくり事業」として地域を変えながら宅配をメインとした訪問を実施してきた。今年度はこれまでの地域で1回、新たな地域で1回と考えている。地域の方はスープがおいしいこと、学生との交流できることを楽しみにしているが、この事業をきっかけに地元農家と地域がつながるなど広がりもあり、今後も継続していきたい。

(委員)

「健康マイレージ」は、運動については関心が見られたので、口腔や栄養に特化して取り組んでもらった。今年度も同様に実施していきたい。

(委員)

5月21日13時30分から15時まで高校生と高齢者の合同演奏会が実施される。

(委員)

昨年会議の中でちょっとした発言が「永山魅力発見隊」として活動につながった。このあと集まって打合せをするが、永山に何があるかを知る機会になる。既存の施設も若い人が見ると違う視点で見られるのではないか。

(委員)

永山地区の町内会加入率が49.7%であるのはショックだった。

(委員)

各実行委員会で事業を実施するときは、各委員に事前にお知らせするようにしてほしい。

#### 4 閉 会

以 上